



総裁選における予備選挙を実施

九月十四日、自由民主党は党大会に代わる両院議員総会を都内のホテルで開き、菅義偉官房長官が岸田文雄政務調査会長、石破茂元幹事長を破って勝利し、第二十六代総裁に選出されました。菅候補377票、岸田候補89票、石破候補68票で菅候補が過半数を獲得しました。十六日には臨時国会が開かれ安倍晋三首相の後継となる第99代首相に指名され、新内閣が発足いたしました。首相交代は7年8ヶ月ぶりです。

これに先立ち、自民党岩手県連は本県に割り当てられた3票の投票先について予備選挙を実施いたしました。予備選挙は八月末日時点で党員・党友資格を持つ人を対象とし、得票数に応じたドント方式で各候補に割り振ることとしました。投票結果を受け、菅候補に2票、石破候補に1票を投じました。新たに菅総裁体制となり、喫緊の課題であるコロナ対策、震災復興や地方創生を力強く進めるべく、党本部との連携を密にし、しっかりと取り組んでまいります。



予備選挙開票結果	投票総数4870票	得票率
菅義偉氏	3039票	62%
石破茂氏	1594票	33%
岸田文雄氏	222票	5%
無効票	15票	0%

※党員・党友8230人を対象とし、投票率は59.17%
2018年の総裁選から2.66ポイント上回る。
2006年以降の総裁選における予備選、党員投票で最も高い数字

いわて政治塾第二回講座を実施



九月五日(土)、
「いわて政治塾」第二回講座を開催いたしました。
講師に自民党青年局長の小林史明衆議院議員をお招きし、「地域における政治家のリーダーシップ」コロナで求められる政治家の役割」と題して講演いただきました。

これまで取り組んでこられた水産改革、放送改革等の各種規制改革の実績や、行政改革、国会改革等の今後注力したいこと。また、コロナ禍で露呈した社会問題、情報格差解消のデジタル化推進の必要性、自民党青年局の活動・役割などについてお話をされました。特に、これからの政治家は地域の住民、行政、企業をつなげていく地域のコーディネーターとしての役割を果たしていかなくてはならないと強く訴えられました。その後講座の内容を深めるために、藤原会長を交えたフリーディスカッションを実施。最後に各班5班に分かれ担当役員を交えて「コロナ禍における経済対策」をテーマにグループワークを開催し、各班代表から取り纏めた提言について発表をいたしました。第三回講座は十月四日(日)山本宮古市長を迎えての開催を予定しております。